

まちづくり委員会 基本方針(案)

まちづくり委員会 委員長 蒲原伸矢

昨今に引き続き新型コロナウイルス感染症により、全世界が影響を受け、大半の活動が縮小や自粛という状況に見舞われておりますが、佐賀青年会議所運動・活動の主体である「住み暮らす地域」を基に地域移住や地域活性化に繋げるために空き家問題など、佐賀市に存在する課題と向き合い、佐賀の財産として価値を見出せるように、行政や他団体を巻き込んだ社会変革型の運動の展開を行い、また佐賀城下栄の国まつりでは、本年51回目を迎え100回目に向けての折り返し地点である本年も地域や佐賀城下栄の国まつりにコミットしていく必要があります。

まずは、本年で51回目の折り返しを迎える佐賀城下栄の国まつりに多くの方々に参加していただくために、関係団体と綿密に連携することで、折り返しの年にふさわしい事業の構築に尽力します。そして、コロナ禍や課題がある中で佐賀城下栄の国まつりを通して未来への明るい希望になるために、諸先輩が長きに亘り受け継いでこられたまつりを新しい時代に合わせた、まつりとして、思い出に残る感動的なまつりへとさらに、昇華させることで、市民の皆様の活力につなげます。さらに、コロナの影響もあり、お年寄りや子供たちの交流が少なくなっているいるので、地域の空き家を活用した、お年寄りや子供たちが一緒に学び、交流できるような施設や農業などを体験できるような事業を行うために、行政や他団体に提案をし、地域に根付く交流の場所を提供する企画・運営をします。そして、レクリエーションや体験型事業を行うことで、さらに、伝統や物の大切さを学ぶことで地域活性につなげてまいります。お年寄りや子供が住み暮らす地域の中で地域交流の場ができ、伝統や地域の良さをより一層知っていただくとともに新たな地域の活性化を見出すことが、地域で輝き続ける団体を目指してまいります。

[事業計画]

1. 佐賀城下栄の国まつりの企画・運営(8月)
2. 京都会議(1月)
3. 例会企画・運営(4月・7月)
4. 九州地区野球大会の企画・運営(9月)
5. 全国大会大分参加者への支援(10月)
6. 会員拡大 拡大目標 委員会